フランス式庭園

校章

農林高校新聞

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡４５３３
ＴＥＬ０５５-２７６-２６１１
ＦＡＸ０５５-２７９-１４１３

本校独自「チャレンジ２０」の実践

山梨県立農林高等学校　校長　山中　泉

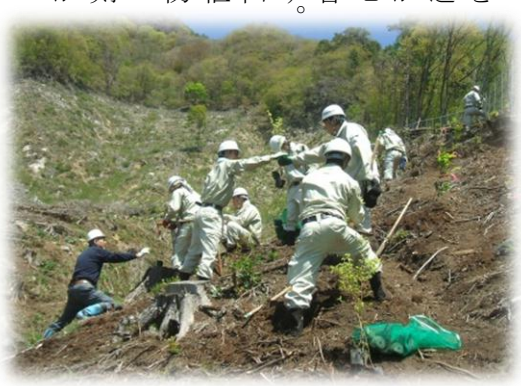
「私たちは、なぜ学習するのでしょうか？」を考えてみたいと思います。最初に全校集会で話した内容を紹介させていただきます。ニュース解説者の池上彰氏のリポート番組が印象に残り感動しました。それは、東南アジアのフィリッピンの貧しいスラム街である少年が起こした奇跡の出来事をリポートしたものでした。その地域の子供たちは、毎日の食べることで精一杯で、ゴミ拾いなどの簡単な雑用程度の働くことが当たり前の状態です。そのため、学校で教育を受けることさえほとんどありません。多くの少年達は、学力が身についていませんので、正規の仕事に就くことができません。したがって、ギャングになる可能性が高い現状がありました。この現状の中、一人の少年が立ち上がったのです。幸いこの少年は、学校に何とか行ける境遇であったのですが、周囲の少年から、やっかみからいじめられていたので、何とか復讐をしたいと思っていました。その復讐とはどんなことだったのでしょうか？　いじめた少年たちに、仕返しをすることだったのでしょうか？　いいえ、彼はギャングをなくすことで復讐をしようと考えたのです。その方法が素晴らしいのです。友人とリヤカーに自分達の使った教科書を積んで、スラム街に出かけ、子供たちに勉強を教えに行動を始めたのです。平日は無理ですから、土曜日の３時間を使い、簡単な文字や計算の教室を開設したのです。最初は正解すると、お菓子で子供たちを引きつけていましたが、だんだん勉強することの楽しさを感じた子供たちは、少しずつ増えていきました。そして、約１０年経過した現在では世界中に同じような活動が広まっているというリポート内容でした。なぜ、子供たちに勉強を教えることで、ギャングがなくせるのでしょうか。それは、教育を受ければ、知識と礼儀が身につき、しっかりした仕事に就けることができ、ギャングになる必要がないということです。これを、ある少年は自分で考え・行動したのです。この運動は多くの人に受け入れられ、世界中に活動の輪が広がったのです。日本には、教育を受けられないという子供はほとんどいませんが、世界には基本的な教育機関にいけない子供がたくさんいるのです。生徒の皆さんは、今いる自分たちの置かれた現状は、大変恵まれており、幸せであるということを実感することが大切です。昨年の山梨県の高校生の就職率は、９８％を超えています。学校教育をしっかり身につけて、基礎学力とあいさつなど礼儀が身についていれば、しっかりした仕事に就ける可能性がとても高いといえます。しかし、実際に仕事について、基礎学力がないと仕事の会話について行けないことが多くあります。仕事ができないと判断される可能性があります。そして、仕事を変えなければならないかもしれません。学校にいる間に、自分の持っている基礎学力を上げることが、自分の将来のためにいかに大切かを実感することなどを中心に話しました。昨年から開始した本校独自の『チャレンジ２０』は、そんな思いを込め、中学校の数学と英語を中心に基礎学力の学び直しが目的です。今年度は全教職員先生方の協力で全校体制で取り組んでいます。昨日までできなかったことが、今日はわかるようになる・・この楽しさがスポーツと同様に勉強でも味わえるまで持続してほしいと願っています。そして、金曜日の放課後には「学びの時間」を設定し、わからない生徒にわかる生徒が教え合う時間を有効に利用して、クラス作りの一環として機能するよう企画しました。さらに、今年度は３年生を対象に面接・論文指導も全教職員による体制作りも進路係を中心に構築しました。このように、１・２年生の学び直しの時間作りの『チャレンジ２０』から、３年生対象の面接論文指導まで全教職員一致協力して開始しています。創立１１０周年を迎える本校の今年度の教育実践成果を期待して下さい。

「プレゼントツリーの森」

植樹祭に参加して

五月十八日に甲斐市上芦沢平見城で行われた、甲斐市、中央森林組合、ＮＰＯ法人環境リレーションズ研究所（東京）合同主催の「プレゼントツリーの森」植樹祭に森林科学科二年生八名、三年生十名、団長・深澤教頭、引率教諭二名の計二十一名で参加しました。同研究所は「親しい人への贈り物」として一般の方々から苗木を購入していただき、全国の山林に植える「プレゼントツリー」活動に取り組んでいます。

甲斐市は五月に同研究所と協定を締結、住民の高齢化などで荒廃の進む山林約４ｈａの山地に同研究所が準備したクリとケヤキの苗木二千七百本を順次植林して、中央森林組合が管理するシステムになっています。今回は、初年度として約２ｈａの山地にクリとケヤキの苗木約千本を植えました。本校生徒は過日の校内防火樹植林作業で得た経験を生かし、参加生徒全員の効率的な作業と真剣な植林作業態度は、一般の参加者から絶賛されていました。



田植え祭り

「一年生一五五名が田植え体験」

六月三日（火）農場の大きな行事の一つである田植え祭りが実施されました。神農神社には、山中校長先生・農業クラブ会長・生徒会長・一年生各ＨＲ長が、田植えの安全と豊作を祈願する「早苗」を奉納しました。午後、一年生百五十五名が田植え体験を行い、保護者も見学に来校してくれました。

生徒には田植えをとおして、「米」の生産への意識を高め、「食」の大切さを学ぶ良い機会となりました。

田植え終了後、「黎明米（コシヒカリ）」のおにぎりと食品科学科製造のネクターで会食をしました。本校の水田では、地下水を利用した水稲（イネ）栽培が行われており、恵まれた環境で安全なお米が育てられています。十一月八日（土）の第四十九回収穫感謝祭で新米を販売します。米の品種は、「コシヒカリ」と「コガネモチ」です。

新米を味わえるよう準備しますのでご期待ください。

田植えをする1年生

第四回「花曇」ふるさと俳句大会

～「先人に学ぶ」事業から～

「花曇」ふるさと俳句大会は、本校出身の俳人である福田甲子男氏の没後、先生の功績を偲んで開催されているもので、本校では昨年度から「先人に学ぶ」事業の一環として生徒が投句する形で参加しています。今年で四回目となる大会は五月十八日、桃源文化会館において開催され、約五百句に及ぶ本校生徒作品の中から、特選三句、秀作十句、入選三十七句が選ばれました。

当日の表彰式には本校から八名の生徒が出席し表彰を受けました。特選及び秀作の句については大会実行委員の加藤勝氏による講評が行われ、高校生の若い感性と表現力が評価されました。入賞作品と入賞者は次のとおりです。

表彰式の様子

特選

図書館の窓から見える桜かな　三年　初鹿雄大
高校の最後の春となりにけり　三年　山本佳祐
春ゆくよ足もとにある石ころも　一年　山本亜美

秀作

新学期だれもが一期一会かな　三年　五味良太
黄金の魂は今真夏空　三年　曽根利明
芝桜富士が引き立つ湖のいろ　三年　畠山優花
夏の山木陰にささる日のひかり　二年　三神大樹
たんぽぽの綿毛がアフロおしゃれだな　二年　河西美月
かたつむり歩きだしたら雨が降る　二年　大石光治
農林高校種蒔きの時やってくる　二年　中込成美
真黒な雨雲が来て梅雨がくる　一年　石原　圭
春風に人の集まる始発駅　一年　三井大輔
新しき制服を着て一学期　一年　網倉　楓

第６４回山梨県高等学校総合体育大会

第６４回山梨県高等学校総合体育大会が５月７日～５月９日の日程で行われ、農林高校各部とも持てる力を最大限に発揮しました。保護者並びに関係各位におきましては、期間中の応援を心より感謝します。各部の試合結果は次の通りです。レスリング部・陸上部で全国高校総体への出場が決まっています。

陸上部

▽８００㍍「８位」２分０１秒２１諏訪寛太（３Ｅ）▽１５００㍍「６位」４分０４秒１１諏訪寛太（３Ｅ）、「７位」４分０４秒１６五味翔太（３Ｆ）▽５０００㍍「５位」１５分３８秒９１五味翔太（３Ｆ）、「８位」１５分５７秒２３笠井駿（３Ｓ）▽３０００㍍ＳＣ「７位」９分５４秒４８笠井虎壱（１年５組）▽５０００㍍Ｗ「７位」３１分１５秒８０郡泰良（２Ｈ）▽砲丸投げ「７位」１１㍍２６㎝平田巧（３Ｆ）▽円盤投げ「３位」３５㍍１２㎝栄野比ホセ（２Ｆ）▽ハンマー投げ「優勝」４６㍍８５㎝栄野比ホセ（２Ｆ）、「３位」３９㍍８０㎝三神大樹（２Ｇ）

レスリング部

▽団体戦（決勝）韮崎工　５対２　農林　※負け「準優勝」

【フリースタイル】▽５０kg級「優勝」小山涼平（３Ｆ）、「２位」高橋三四郎（２Ｆ）▽５５kg級「３位」河野優也（３Ｅ）、「６位」前田祐希（３Ｅ）、「５位」神田優人（１年１組）、「９位」小山晃平（１年２組）▽６０kg級「優勝」倉金幸輝（３Ｇ）、「７位」長田圭太（２Ｇ）、「３位」田口学容（１年２組）▽６６kg級「３位」上野健太（３Ｇ）、「４位」豊田勝弘（２Ｇ）、「７位」功刀卓臣（１年２組）▽７４kg級「２位」雨宮元輝（３Ｆ）、「５位」山本丈介（１年２組）、「７位」飯久保翔太（１年１組）

【グレコローマンスタイル】▽５０kg級「優勝」高橋三四郎（２Ｆ）、「６位」小山涼平（３Ｆ）▽５５kg級「４位」神田優人（１年１組）、「５位」前田祐希（３Ｅ）、「７位」小山晃平（１年２組）▽６０kg級「２位」田口学容（１年２組）▽６６kg級「３位」倉金幸輝（３Ｇ）、「８位」長田圭太（２Ｇ）▽６６kg級「３位」上野健太（３Ｇ）、「４位」豊田勝弘（２Ｇ）、「７位」功刀卓臣（１年２組）▽７４kg級「３位」山本丈介（１年２組）、「４位」雨宮元輝（３Ｆ）、「７位」飯久保翔太（１年１組）

テニス部

▽個人戦【男子シングルス】「ベスト６４」清水尚也（３Ｆ）、高橋浩一（３Ｅ）【女子シングルス】「ベスト６４」土橋響（３Ｓ）、井上玲奈（２Ｓ）【女子ダブルス】「ベスト３２」井上玲奈（２Ｓ）・金丸麻椰（２Ｓ）▽団体戦【男子】齋木誠士（３Ｈ）、清水尚也（３Ｆ）、五味良太（３Ｆ）、田村一斗（３Ｆ）、竹本匠吾（３Ｅ）、（一回戦）農林　２対１　航空（二回戦）駿台　３対０　農林　※二回戦敗退【女子】石原夏瞳（３Ｈ）土橋響（３Ｓ）、井上玲奈（２Ｓ）、金丸麻椰（２Ｓ）、岩下彩菜（１年４組）、（二回戦）農林　３対０　北稜（準々決勝）甲府南　２対０　農林　※団体女子は「ベスト８」

ソフトテニス部

▽団体戦【男子】農林　０対３　駿台　※初戦敗退　▽個人戦【男子ダブルス】窪田慎也（３Ｈ）、花輪紘正（３Ｅ）が二回戦４対２で駿台に勝利、三回戦は２対４で甲府南に敗退　※「ベスト３２」

バスケットボール部

【男子】農林　４３対８９　河口湖【女子】農林　１１対１４８　上野原　※初戦敗退

卓球部

▽団体戦【男子】農林　０対３　吉田　※初戦敗退【女子】（二回戦）農林　３対１　学院、（準々決勝）農林　０対３　航空、（５～８位順位決定トーナメント）農林　０対３　甲府南、（７～８位決定戦）農林　１対３　桂　※団体女子は「８位」

弓道部

▽団体戦【男子Ａ】吉原孝太朗（３Ｓ）、外川竜樹（３Ｅ）、飯村凱（３Ｓ）、※決勝トーナメント初戦甲府一に勝利、二回戦に進出するが巨摩Ｂに敗退「ベスト８」【男子Ｂ】、【女子】は予選敗退

剣道部

▽団体戦【男子】三浦弘次朗（３Ｅ）、菊池朋弥（２Ｆ）、小宮裕壱（１年４組）、伊東京兵（１年１組）、浅野正貴（１年１組）、三井大輔（１年４組）、（一回戦）農林　３対２　笛吹（二回戦）農林　０対５　日本航空　※二回戦敗退　▽個人戦【男子】浅野吉揮（１年５組）が初戦２対０で甲府一に勝利、二回戦は１対５で日本航空に敗退

柔道同好会

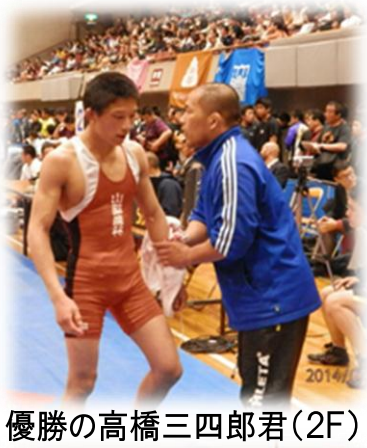
▽団体戦【男子】農林　２対３　笛吹　※初戦敗退

サッカー部

農林　１対４　甲府東　※初戦敗退

全日本ジュニアレスリング選手権大会優勝！

平成二十六年四月二十七日神奈川県横浜文化体育館で全日本ジュニアレスリング選手権大会が開催されました。本校からは三名の生徒が出場し、二年森林科学科の高橋三四郎君が、カデット４６kg グレコローマンスタイルの部で全国優勝を果たしました。全国大会優勝は農林高校にとって初めての快挙であり、高橋君は七月に中央ヨーロッパのスロバキアで開催される世界選手権へ日本代表として参加することも決定しました。保坂甲斐市市長をはじめ、多く方々から祝福と激励の言葉を頂きました。本大会でも日本代表、農林高校代表の誇りを持って戦ってくれる事を願います。



優勝の高橋三四郎君（2F）

市長より激励

山梨インターハイへ！

陸上部ハンマー投げ　２Ｆ栄野比ホセ君

農林高校陸上部は長距離を中心に活動を行っています。陸上部の最大の目標は１２月に行われる全国高校駅伝に出場することです。そのために部員は毎日努力をしています。しかし、陸上部は長距離だけではなく投擲も少ない人数ですが毎日活動を行っています。その中の１人、栄野比ホセ君は５月に行われた高校総体で優勝し関東大会の出場を決めました。６月１９日神奈川県で行われた関東大会は県外の強豪選手にも負けることなく素晴らしい投擲を見せました。１投目で県大会の記録を４ｍ上回る５０ｍを投げ、２投目以降も練習の成果を発揮し記録を５２ｍまで伸ばしました。６位までがインターハイの出場権を得るのですが最終投擲の順位は７位とインターハイの出場権を得られる順位ではありませんでした。迎えた最終投擲で勝負強い素晴らしい投擲を見せてくれました。６位を５ｃｍ、５位を１ｃｍ上回る５２ｍ９３ｃｍと自己ベストを６ｍ以上上回る記録を出し、インターハイの出場権を獲得しました。今年のインターハイは７月３０日～８月３日の５日間に山梨県で行われます。栄野比ホセ君も「インターハイでは８位入賞できるようにこれからも練習を頑張ります」と力強く語ってくれました。ここ一番の勝負強さを発揮し、全国８位入賞という目標を達成してくれると信じています。

いつの日か強豪校に！卓球部

卓球部は現在、男子４名女子７名の計１１名で活動しています。現２年生が入学したときには、先輩が一人もおらず、廃部の危機でした。そのとき入部した部員の中で１年経って残ったのが４名でした。昨年は人数不足で団体戦に出場することも出来ず、個人戦への出場のみで、１年間が過ぎました。今年の春に１年生が入部し、７名も部員が増えました。そのおかげで男女とも、県総合体育大会で団体戦に出場することが出来ました。特に女子は、経験者の１年生が入ったことから戦力が整い、初戦となる２回戦で山梨学院附属高校と対戦し、見事勝利を収めました。その後の順位決定トーナメントでは惜しくも敗れてしまいましたが、８位に入ることが出来ました。総体得点１点を獲得し、大健闘と言える結果を残すことが出来ました。まだまだ練習の質などで、向上の余地があると思います。部員同士で切磋琢磨し、いろいろな技術を身につけていきたいと思います。そして、数年前に団体戦で県３位に輝いた先輩達のように、いつの日か強豪校の仲間入りを果たしたいと思います。

甘利山のレンゲツツジ～植物研究部

野生植物を生徒達に見せたくて甘利山を訪れるようになって６年になりました。今年は春の草刈りに続き、６月２１日にレンゲツツジの観察に行きました。

甘利山の山頂付近にはレンゲツツジの群落と草原が広がっており、年配者には人気のスポットですが、若者にはいまいち。そのためか、生徒を連れて行くと地元ＮＰＯの甘利山倶楽部の皆さんはとても親切にしてくださるのですが、部員達はどう思っているのか、正直なところ心配です。山に植物を見に行くよりも、カラオケやゲームをしている方が楽しいという生徒の方が多いのではないでしょうか。甘利山倶楽部の小林さんは言います。「今は楽しくなくても、いつか思い出して遊びに来てくれたら良いなと思いますよ。」私も若い頃は、植物や山に関心がありませんでした。心の中に原風景として残ってくれたらと思い、今年も部員達を連れて甘利山から眺めます。

地味に頑張っています！テニス部

農林高校テニス部は、すでに三年生が引退し男子九名、女子五名の計一四名で活動しています。これまでに何度となく部員不足に陥り、様々な危機を乗り越えてきた部活だからなのか、伝統的に部員相互の仲間意識は非常に高く、練習も毎日楽しく行っています。しかし、試合ではモードが変わり、どの部員も真剣にゲームに向き合っています。非常に雰囲気のいい部活です。今年度はすでに県総体、インターハイ予選を終えました。団体戦では男女ともベスト８を目標に戦い、県総体では、女子が団体戦ベスト８に入りました。これは学校始まって以来の快挙です。男子は惜しくも目標を達成することはできませんでしたが、一生懸命ゲームに臨む姿には心を打たれました。これから引退した三年生の姿を追いかけ、成長する部員たちの姿が見られるのではないかと思います。部員の現在の共通目標は、無駄な練習をせず一球一球を大切にする、試合後に後悔しない試合をするために一生懸命足を動かす、常に先を考え準備するです。目標を達成できるように毎日頑張っています。応援よろしくお願いします。文武両道も目指しています！